

三育学院大学

学部生・大学院生の皆さんへ

## 学修における生成 AI 活用に関する注意事項

ChatGPT 等の生成 AI が急速に進化し普及しており、今や学生の皆さんも簡単に利用できるようになりました。生成 AI は非常に便利である一方で、使い方を間違えると、学修にマイナスの影響を与える可能性があります。例えば、課題レポートの作成を生成 AI に完全に依存してしまうと、学びの機会を失うだけでなく、倫理的な問題を引き起こし、ご自身の信頼にも傷をつけかねません。

そこで、本学での学修において、皆さんが生成 AI を有効かつ安全に活用できるよう、本学の基本的な考え方、および生成 AI 活用に関する注意事項を以下に挙げますので、十分に理解した上で、厳守してください。

### 1. 本学の基本的な考え方

生成 AI は、適切な使用により新たな知識習得や考え方、批判的思考等の向上に有用なツールになると考えており、将来的には生成 AI を使いこなす知力と技術を有することが当たり前の時代がやってくるとも考えています。しかしながら、生成 AI は数多くの問題点や情報管理におけるリスクを有していることも事実であり、学生の皆さんはこの点においての理解も必要です。

本学における生成 AI の活用については、生成 AI を利活用するリテラシーを学生の皆さんそれぞれが身につけ、上手に使いこなすことを奨励します。生成 AI の使い方や活用方法には注意すべき点が多々あることを十分に認識し、学修・教育活動においては教職員の指示に従い、各々が責任を持って活用することを求めます。

### 2. 活用にあたっての注意点

#### (1) 授業やゼミナールにおける課題やレポート、実習記録、卒業論文等を含むあらゆる提出物

生成 AI による生成物（出力）をそのまま利用した場合、剽窃※とみなされる可能性があります。そのような場合は、不適切な利用とみなし、場合によっては不正行為として対処するすることがあるので、十分に注意してください。

なお、授業やゼミナール内での演習や事前・事後学習（課題等）への取り組みにおける生成 AI の利用の可否や利用方法、利用範囲については、担当教員の指示（初回授業等での指示やシラバスの記載）に従ってください。指示された方法・範囲を超えた生成 AI の利用が確認された場合は、担当教員の判断により、その課題等の提出物を無効とし、厳格に対処するので十分に注意してください。

※ 剽窃（ひょうせつ）とは、他人の著作物やアイデアを自分のものとして提示し、その出典や引用を明示しない行為のことです。

#### (2) 生成 AI への指示（プロンプト）入力時

プロンプト入力時は、以下の点に注意してください。個人情報や機密情報が意図せずにせよ、流出・漏洩した場合は、社会的・法的な責任が問われる可能性があります。

- 個人情報等の秘匿すべきもの（自分または他人のプライバシー情報、未発表の研究データや論文等）や、学内の機密情報、公開されるべきではない情報を入力していないか
- 第三者の権利を害する恐れがあり、注意が必要なものを入力していないか
  - ① 秘密保持義務を課された機密情報
  - ② 第三者が著作権を有しているデータ（文章、写真、イラスト等）
  - ③ 第三者が作成した登録商標・意匠（ロゴマークやデザイン）
  - ④ 著名人の顔写真や氏名等

### (3) 生成 AI による生成物（出力）の利用

生成 AI の回答には誤った情報や不適切な内容が含まれている可能性があります。また、上記(2)と同様に社会的・法的な責任を問われる場合がありますので、以下の点に十分留意してください。

- 内容に虚偽や偏見が含まれていないか
  - ☞ 内容の真偽については、必ず自分自身で信頼できる原典にあたるなどして確かめる。
  - ☞ 偏見の有無について、十分に吟味する。
- 利用によって誰かの既存の権利を侵害していないか
  - ① 著作権侵害
  - ② 商標権・意匠権侵害
  - ③ 虚偽の個人情報・名誉毀損等
  - ☞ 個人情報・機密情報・著作権について留意し、これらを侵害する恐れがある場合は使用しない。

なお、今後も生成 AI の使用に関して状況が変化することが考えられますので、本学からのお知らせを確認し、適切な対応に心がけてください。

2026年3月5日  
三育学院大学